

第3学年1組 外国語科（英語）学習指導案

平成22年10月 5日

授業者氏名 春木 二美

1 単元名 Unit 4 An American *Rakugo ka*（NEW HORIZON English Course Book3）

2 単元の目標

ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度

- ・学習した表現を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする。
- ・日米の違いや、日本文化についてすすんで調べて発表しようとする。

イ. 表現の能力

- ・「疑問詞+to不定詞」「It is ... for~ to不定詞」を用いて正しく書く。
- ・言語や文化の違いや、日本の慣習や文化的なものについて英文にまとめて紹介する。

ウ. 理解の能力

- ・「疑問詞+to不定詞」「It is ... for~ to不定詞」を含んだ英文を読んだり聞いたりして、その内容を正しく理解する。
- ・言語・文化の違いや日本文化についての英文による質問に対して、適切に応じる。

エ. 言語・文化についての知識・理解

「疑問詞+to不定詞」「It is ... for~ to不定詞」の文の形・意味・用法を理解する。

3 学習の基盤（生徒観は省略）

本単元は、落語を題材として取り上げ、落語での扇子の使い方の解説、週末に英語の落語を聞きにいこうとする対話を経て、日米の文化・ことばの使用法の違いをテーマにしたアメリカ人落語家ビル・クラウリー氏による英語での小話へと展開する。内容としては、ビル・クラウリー氏による小話の中で、日本のレストランで注文にとまどうアメリカ人と、アメリカのレストランでことばの使い方を間違える日本人を対照的に取り上げてあり、生徒は言語や文化の違いについて考えることができる。また、文法事項としては「疑問詞+to不定詞」「It is ... for~ to不定詞」が新出である。

本単元では、①「疑問詞+to不定詞」「It is ... for~to不定詞」の用法・意味を理解し、運用できる力を養うこと、②会話練習を通してコミュニケーションへの意欲を高めること、そして③単元のまとめとして、日米の言語・文化の違いや日本文化の調べ学習とその発表活動の3点を重点的に行いたい。特に、③の調べ学習では、グループで活動し、自分たちが決めたテーマについて調べたことを、これまで学習してきた英語を用いて、まとまりのある英文を作り、発表する。「話す」活動と連動した「書く」活動を取り入れ、自らの体験や考えを発信できるような機会を取り入れていきたい。発表はクイズ形式で進める。話し手には、聞き手に質問しながら発表するなど、聞き手を意識した発表の仕方を工夫させる。また、聞き手には聞いた内容を自分なりの英文でまとめ直しができるようメモを取りながら聞かせたり、一方的でなく、相手を意識した発表になるよう配慮したい。またグループでの学び合いの中で、コミュニケーションをとることの喜びや楽しさを味わうことで、基礎・基本の定着が確かでない生徒の英語学習への意欲の向上につなげたい。

4 単元の評価規準

ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ. 表現の能力	ウ. 理解の能力	エ. 言語・文化についての知識・理解
① ジェスチャーなど様々な工夫をしてコミュニケーションを続けようとする。(話ア継) ② 発表活動に積極的に取り組んでいる。(話ア取)	① 伝えたい内容によって、語句や表現方法を考えて書くことができる。(書イ適) ② 日本の慣習や文化的なものについて、英文にまとめて紹介することができる。(話イ適)	① インタビューを聞き、その内容について大切な部分を聞き取ることができる。(聞ウ適) ② 英語の小話を読んで内容を理解することができる。(読ウ適)	① 「疑問詞+to 不定詞」「It is ... for~ to 不定詞」の文の形・意味・用法を正しく理解している。(書エ言)

5 単元の指導計画

次	主な学習内容	評価規準	評価方法
1	Starting Out (P40) ・落語での扇子の使い方を知り、落語について関心をもつ。 ・「疑問詞+to 不定詞」の文型・意味・用法を理解し、表現する。	エ①	ワークシート
1	Dialog (P41) ・慎とエレンの対話を読んで、内容を理解する。 ・「It is ... for~不定詞」の文型・意味・用法を理解し、表現する。 ・「疑問詞+to 不定詞」「It is ... for~不定詞」を用いたインタビュー活動をする。	エ①	ワークシート 観察
1	Reading for Communication (P42) ・英語で語られる落語の小話を読んで、内容を理解する。 ・相手に伝えることを意識した音読練習をする。	ウ②	ワークシート (Q&A, TorF) 観察
1	Reading for Communication (P43) ・英語で語られる落語の小話を読んで、内容を理解する。 ・相手に伝えることを意識した音読練習をする。	ウ②	ワークシート (Q&A, TorF) 観察
1	Reading for Communication (P44) ・言い方がわからないとき、ジェスチャーや言い換えを使って意味を伝える。 Listening Plus 4 (P42) ・有名人へのインタビューの質問文を作り、インタビューを聞いて具体的な内容や大切な部分を聞き取る。メモを取る。	ア① ウ①	観察 ワークシート
2	発表会準備 ・グループでテーマを決定し、そのテーマについて調べ、原稿を作成する。	イ①	ワークシート
1 本時	発表会 ・グループごとに発表する。 ・聞き手は発表者の質問に答え、発表内容のメモを取る。 まとめ ・本時の学習を振り返り、自己評価をする。	ア② イ②	発表観察 ワークシート

6 本時の学習

○目標

- ・日本と外国のコミュニケーションの図り方の違いをすすんで調べて発表しようとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度) (話ア取)
- ・日米の慣習や文化的なものについて、英文にまとめて紹介することができる。
(表現の能力) (話イ適)

○展開

学 習 活 動	教 師 の 支 援	評 価
<p>○3文テスト</p> <p>○口頭による英問英答活動 (復習)</p> <p>○グループによる発表 自分のテーマについて調べたことを英文でまとめものを、一人一人が質問を交えながら発表する。</p> <p>○自分が一番印象に残ったトピックについて自分のとったメモを参考に、英文でまとめる。</p> <p>○教師のコメントを聞く。</p> <p>○課題と次時の活動を知る</p>	<p>・前時で学習した重要文を覚えさせることで、文法事項や重要語句の定着を図る。</p> <p>・前時の学習内容を想起させ、本時の内容に対して関心を持たせる。</p> <p>・グループごとに決めたテーマについて、クイズ形式で、英語で説明させる。実物や絵図の活用など生徒の様々なアイデアを発表に活かせるよう支援する。</p> <p>・聞き手を意識したわかりやすい発表となるよう、声の大きさ、速度などに気をつけさせる。</p> <p>・聞き手は発表者の質問に答えたり、発表内容のメモをとったり、積極的に発表活動に参加するよう助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>予想されるテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の落語 ・日米の食文化の違い ・英語と日本語のジェスチャー ・年中行事の比較 ・マンガカルチャー ・世界で活躍する日本人 ・世界で使われる日本語 </div> <p>・例を示し、自分が聞き取った内容を自分なりの英文でまとめ直させる。必要に応じて個別に支援する。</p> <p>・生徒の良かった点を先に取り上げ、次に改善点を述べ、課題をこなす上でのポイントを伝える。</p>	<p>発表観察 ワークシート (発表原稿)</p> <p>ワークシート (メモ・相互評価)</p> <p>ワークシート (自己評価)</p>

○ 本時の具体的な評価

- ・日本と外国のコミュニケーションの図り方の違いをすすんで調べて発表しようとする。

十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	努力を要すると判断される生徒への具体的な支援
<p>・いろいろな資料を自発的に調べ、調べた内容を使ってジェスチャーを交えながら、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	<p>・配布された資料で調べ、調べた内容を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	<p>・配布資料の中から適切な表現を選び、発表できるよう支援する。</p>

・日米の習慣や文化的なものについて、英文にまとめて紹介することができる。

十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	努力を要すると判断される生徒への具体的な支援
・外国と対比しながら、日本の慣習や文化的なものについてわかりやすく英語で発表している。	・日本の慣習や文化的なものについて、自分なりに英語で発表している。	・日本の慣習や文化的なものについて短い英文でも言えるように発音方法などを個別に支援する。

○授業の観点

日米の習慣や文化的なものについて調べたことをクイズ形式で説明・発表する活動は表現力を高める活動であったか。